





●三浦半島剣崎松輪港

# 佑幸丸

YUKOMARU  
Kenzaki-Matsuwa Port, Miura Peninsula

☎046-886-1356 (詳細は巻末の情報欄参照)

## 料金プラン

●5名まで4万5000円。1人増し9000円。釣り物によって料金の変動あり(キンメやカツオなど)。下船後に港または船宿にて精算。

▶草間直樹船長



▶仲乗りを務める草間賢悟さん



▶コマセや付けエサ、氷などは港にある漁協の販売所で購入できる。



▲ワラサ、マダイともにコマセと付けエサはオキアミ



▲コマセカゴはLサイズ、オモリ80号を使用

## 利用ガイド

**【予約方法】**  
電話にて人数、希望の釣り物などを伝えて日程を確保

**【出船時間】**  
5時半～12時半(季節によって変動あり)。沖揚げりまで最大7時間

**【エサ、氷、仕掛けなど】**  
氷、エサ、仕掛けはすべて別料金

**【レンタルタックル】**  
手巻きリール、電動リールのセットともに1000円

**【集合場所】**  
剣崎松輪港に集合。車は乗船場に隣接する駐車スペースに停める

**【備考】**  
横浜横須賀道路・佐原ICより約20分



▲船は13トンの大型船。「最大で20名まで乗船可能で12名までが釣りやすい」と船長



▲船の後方には清潔なキャビンもある



▲ルアーのカマスはこのポートからキャストで狙う



## 《釣り物カレンダー》

釣り物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マダイ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
ワラサ												
カワハギ	🐟	🐟										
アオリイカ	🐙	🐙	🐙	🐙								
イシダイ五目	🐟	🐟										
キンメ	🐟	🐟										
ヤリイカ	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙							
オニカサゴ	🐟	🐟										
アマダイ	🐟	🐟										
カマス												
マルカサゴ			🐟	🐟	🐟	🐟						
イサキ												
カツオ												



●マダイは1キロ前後が主体だが今後は3～5キロ級も期待大



▶おいしそうなおサバも交じる



▶イサキも上がった



▶2本のハリをくわえてマダイが上がった



●親子でワラサとファイト!

## 幹事の桂 博道さんに聞きました! 初めて乗船したときマダイを5枚釣らせてもらって一発で気に入りました!

「佑幸丸を利用するようになったのは3年ほど前からなのですが、初めて仲間と乗船した日にいきなりマダイを5枚も釣らせてもらい、すっかり気に入りました。草間直樹船長の人柄も優しく、助手の賢悟くんが色いろとサポートしてくれるのでとっても助かります。現在は月イチのペースで佑幸丸を仕立てていて、私個人としてはココしか乗船しなくなりました。船が大きいのもいいし、よく釣らせてくれるし大好きな船宿です」と桂さん。当日は7名で乗船し、1人あたりの料金は9000円。ご協力ありがとうございました。

## 佑幸丸のココが好き!

●親子でマダイもキャッチ



●無事ゲットしてピース!



の良型が多く、とくに近年人気を集めているそうだ。今後はヤリイカも期待大。釣り場は洲ノ崎沖や沖ノ瀬の水深150メートル前後で、釣れたヤリイカをエサにハモノを狙うのも面白い。マダイやメダイ、ワラサなどが竿を絞り込むという。オニカサゴとのリレー釣りが可能でリピーターも多いそうだ。そのほか夏場は別船のポートからルアーで狙うカマスも人気を集め、40センチ級の良型が連発するという。草間直樹船長は明るく優しい人柄で大の釣り好き。出船の際

## 朝からワラサ連発! 美しいマダイも登場

佑幸丸を訪れたのは9月22日のこと。神奈川県大和市の桂博道さんが幹事を務めるグループがワラサ&マダイ五目のリレー釣りで仕立てた船にお邪魔させていただきました。当日は5時半に出船。剣崎沖で準備をしながら開始時刻の6時を待つ。6時になり剣崎沖の水深40メートル前後で開始となった。

早々にヒットしたのは幹事の桂さん。ワンピースロッドが大きく絞り込まれ、ややあつて取り込まれたのは3キロ級のワラサだ。

「やっぱり青物の引きは気持ちいいですねえ!」と桂さん。その後はバタバタとヒットが相次ぎ小学生の鈴木九十九くん(神奈川県横浜市)もお父さんと一緒にワラサをゲット。「超楽しい!」と満面の笑みを見せてくれた。開始から3時間ほどでほとん

どの人が4〜5本のワラサを上げていたが、紅一点の塩原亜貴さん(神奈川県大和市)だけがワラサを手にならなかつた。しかしあきらめることなく釣り続け、マダイ狙いに変更する直前にヒット。一生懸命リールを巻いてキャッチしたのは3キロ級のワラサで実にうれしそう。中盤戦からは少し移動して水深40メートル前後でマダイを狙う。しばらくして竿を曲げたのは前出の九十九くんのお父さん、鈴木貴也さん。ていねいなやりとりで釣り上げたのは1キロ級の美しい本命。

その後マダイらしき魚を掛けた人が数名いたが残念ながらバラシに終わった。しかし、イサキやサバなども上がり、皆さんはなんと楽しんでる表情。終了間際に竿を曲げたのはまたまた鈴木さんで、上げてビックリ! 1キロオーバーのマダイが鈴木さんと息子の九十九くんのハリを両方くわえていた。これは親子の記念になるだろう。「ワラサもマダイも釣れて大満足です!」と鈴木さん。佑幸丸のワラサ&マダイ五目のリレー釣りは今後も期待度◎。ぜひ皆さんもチャレンジしてみてくださいいかがだろう。